

## 平成23年度 第2回関西支部幹事会議事録

1. 平成23年度活動報告について以下の報告があり了承した。
  - 7月23日 リフレッシュ理科教室 2011京都（応用物理学会との共催）
  - 11月30日～12月1日 平成23年度日本顕微鏡学会関西支部共催特別講演会  
生理研研究会「電子顕微鏡機能イメージングの医学・生物学への応用」テーマ：3Dイメージングの最先端
  - 12月26日 平成23年度日本顕微鏡学会関西支部総会・講演会
  - 12月27日 平成23年度日本顕微鏡学会関西支部特別講演会  
AFMバイオイメージングフォーラム
  - 平成24年2月17日 平成23年度日本顕微鏡学会協賛/関西支部外国人講演会  
次世代クライオ電顕法と超分子空間構造：Direction of future in biological electron microscopy
2. 平成23年度決算報告が有り、今年度はAFMの会にスポンサーを付けたこともあり、支出は低く抑えられた。また、その原因として以下のことも考えられる。支部運営費を懇親会費の一部に当てることを知らなかったこともあり、総会後の懇親会を開かなかった。幹事会への出席が少ないため、交通費がかからなかった。幹事会そのものも2回しか開かなかった。など（詳細は別紙参照）
3. 支部長、副支部長選挙について、以下の二名を幹事会推薦として、選挙を行う。選挙管理委員は丹司敬義会員  
支部長候補 乾 晴行 会員（京都大学） 副支部長候補 峰雪芳宣 会員（兵庫県立大学）
4. 支部規定改訂について、現状にそぐわない点多々あり、杉山理事と協議の上変更することにした。配布された支部規定の発効日は来年であったので、それまでに変更すればよいと言うことで、改訂点を直接杉山理事に連絡するか、支部長を通して連絡することにした。
5. 市民公開講座特命幹事について一色俊之先生（京都工芸繊維大学）から平原佳織先生（大阪大学大学院工学研究科附属高度人材育成センター）に交替したい旨、申し出があり、了承した。